



皆さんこんにちは！営業部です。昨年エコムに入社して早1年が経ちました。熱処理や装置の知識など日々勉強ですが、新しい事を吸収するべく奮闘中です。私の趣味は最近流行りのDIY(Do It Yourself)です。DIYアドバイザーという資格も持っています。欲しいサイズや機能を自分で考えて、試行錯誤しながら作ったものには愛着がわきますよね。エコムの仕事にも通じる場所があります。ものづくり最高！それでは今月の熱技術ニュース、スタートです。

火が着かない… 温度が上がらない… 起こりがちな機器トラブルとは？

エコムのメンテナンスチームには全国各地から様々なレスキューコールが入ります。着火しない、失火する、温度が上がらないの3つが多いのですが、その7割は燃焼状態が変わってしまったことによるもの(燃焼調整で改善する)、3割が機器の不具合が原因です。今回は生産停止を未然に防ぐために事前にできる対策として、起こりがちな機器トラブルを解説します。



プロテクト&ウルトラの期限切れに注意！

多く寄せられるトラブルはなんといっても失火です。その原因のひとつに機器類の経年劣化による故障があります。機器にはメーカーが定めた使用期限があります。プロテクトルー(安全制御装置)は約7年です。右下の写真で紹介しているウルトラビジョン(火災検出器)は期限が本体に記載されています。まだ使えるのに交換するのはもったいないと思われるかもしれませんが、安全のために使用期限は厳守しましょう。



▲プロテクトルー



電磁弁の故障で着火しない！

電磁弁(安全遮断弁)はガス・エアの流れを電氣的に開閉させる安全装置です。使用回数の目安は約3万回ですので、1日に20回開閉する場合、5年で上限に達します(20回×25日×12月×5年=3万回)。そもそもガスが来ていない場合は、まずは電圧が電磁弁部にかかっているか/いないかを確認します。電圧がかかっているのに電磁弁が開かない場合は、電磁弁の故障が考えられます。



▲メインライン



▲パイロットライン



スパークロッドの絶縁不良で着火しない！

スパークロッドはガスに火を灯す点火源です。例えば写真のスパークロッドでは二股に別れている先端で火花を発生させ、ガスを燃焼させます。不具合原因としては絶縁不良があります。二股に別れている先端が接触して火花が散らなかつたり、絶縁碍子部分や先端にススや汚れが付着したことで火花が散らなかつたりと様々な要因があります。定期的な清掃・監視が必要となる機器です。復旧する際の位置調整がシビアですので注意が必要です。



▲こまめに清掃しましょう



コントロールモータの不具合で温度が上がらない

温度が上がらない原因として考えられるのがコントロールモータの不具合です。経年劣化により可動部が錆びつき、作動しなくなります。また埃が可動部に入り込むと動作不良につながります。機器そのものはもちろん、装置やバーナ周辺の清掃も定期的に行うことで機器が長持ちします。また定期的なジョイント部の増し締めも必要です。他にも温度制御が安定しない原因としては温度調節計の故障によるPV値の異常等も考えられます。



▲コントロールモータは埃に注意！



【お知らせ】株式会社エコム 札幌支店 開設のご挨拶

■熱技術ニュース読者の皆様

この度 株式会社エコム札幌支店を開設する運びとなりました。4月3日(月)より下記住所にて業務を開始いたします。弊社にとって初めての支店となるため、試行錯誤ながらも社員一同、期待に胸を膨らませております。営業・メンテナンスの拠点として、北海道の皆様のお役に立てるよう、誠心誠意のサービスをめざします。何卒宜しくお願い申し上げます。

まずは3名体制でスタートいたします！
札幌支店 支店長 泉波進一(写真中央)
営業・メンテナンス担当 船越俊宏(写真右)
購買・経理事務担当 谷口真知子(写真左)

〒065-0019

北海道札幌市東区北19条東9丁目4番1号

TEL:011-741-4811

FAX:011-741-4812

